

第2回オフシエル科学大賞 受賞者発表

6名の有識者からなる審査委員会における厳正な審査の結果、下記のように受賞者を決定しましたのでお知らせします。

令和6年10月18日 審査委員会委員長 大津 元一



【受賞者】 瀬川悦生 様 (教授/横浜国立大学)



【受賞理由】 オフシエル科学の発展の促進に資する優れた問題を提案した。

《提案の名称》 ドレスト光子の出力最大にする最適な閉曲面上の埋め込みを探せ

《提案の概要説明》

従来のネットワークの隣接関係のみが反映される標準的モデル（グローバークウォークモデル）ではドレスト光子のエネルギー移動の独特の不思議な振る舞いを再現するには不十分である。そこで、このモデルから脱却し、「ネットワークの背後にある閉曲面埋め込み」という幾何的な新たな考察を加え、ドレスト光子の挙動が端的に再現されるモデルを構築し、新しい世界を拓く。これが実現すればドレスト光子、オフシエル科学、そして生体微生物によるエネルギー輸送などへ波及し、広範な分野の相乗効果が期待される。上記の実現のために与えられたネットワークに対し、「初期にはいろいろな場所に訪問し、その経験をいかして時間の経過とともに『自律的に』適切な経路を選ぶ」ようすが記述される閉曲面上の埋め込みを探すことをここに問題として提示する。